



花のある生活

トミーの寄せ植えプロデュース
文・写真：富山 昌克

寄せ植えをこれから始めてみたい！という初心者を対象に、簡単にできる寄せ植えを紹介するコーナーです。
※不定期で連載しています。

第5回 お気に入りのブリキのコンテナ！ 多肉植物の寄せ植え

ヘンテコな形が愛らしく、近年トレンドの多肉植物。肥料や水やりといった世話ではなく、成長させないように維持管理していくのが寄せ植えの醍醐味です。新生活を多肉植物と一緒に過ごしてみませんか。

鑑賞期間 4月～9月

水やり 2週間に1回。土が完全に乾いたのを確認し、数日経過した後、水やりします(量は鉢底から水が出てくるくらい)。多肉植物は多湿を嫌い、水のやり過ぎは根腐れを起こして枯死する原因となるので要注意です。

置き場所 玄関先の日当たりの良い場所

植え込み図



コンテナ
横幅20cm、縦幅10cm
後ろ高さ18cm、前高さ9cm

手順 茎の途中からカットして、葉の質感が異なるものが隣り合わせになるよう寄せ植えていきます。



①コンテナの底の排水穴に鉢底ネットを敷く。②多肉植物専用土を入れる。植物が目立つように、土は多めに入れるのがポイント。③多肉植物を株元でカットする。④挿し穂の下部の葉を取り除き、自由に挿し芽していく。取り除いた葉を、別のコンテナの多肉専用土の上に植え込まず載せておくと、芽が出て再生することもある。



ゴーラム

別名「宇宙の木」と呼ばれる。つやつやした葉は棒状で、先端は指で押したようにへこんでいる。



月兎耳

ウサギの耳に似た葉は、細かなうぶ毛で覆われている。葉の縁に入る茶色の斑点も印象的。



黒法師

茎の上部に花のように平らに放射状に広がった葉をつける。黒に近い紫色の葉が魅力的。



サルメントーサ

常緑性の多年草。秋が深まると葉先が紅葉する。



火祭り

肉厚な葉の部分は、気温が低くなる晩秋から真っ赤に色づき、とても綺麗。



秋麗

耐寒性があり、-2℃まで耐え、夏の炎天下に置いても大丈夫。とても丈夫で初心者にもおすすめ。

お手入れのコツ

春と秋に、伸びた枝を切り、寄せ植えをし直しましょう。また、挿し穂をとった後の根鉢(根と鉢土の塊)を日当たりのよい場所で水やりして育てると、切られたところから芽が出て、半年後には再生します。